



日 乗 連 ニ ュ ー ス

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2005.07.15

No. 28 - 41

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail: office@alpajapan.org

IFALPA ADO (Aircraft Design & Operation) Committee Meeting in Budapest, Hungary 出席報告

6月19日~21日 Budapest で行われた IFALPA ADO Committee の内容を報告します。

Unmanned Aerial Vehicles (UAV) というのを皆さんは聞いたことがあるでしょうか？

CNN等で映像を見たことがあると思いますが、イラク、アフガニスタンで飛び回っている無人偵察機等のことを指します。最近まで、UAVは軍事目的の物がほとんどでした。そしてUAVの飛行は、限られたミリタリーエリアや紛争地域、または特別空域だけでした。

技術的な進歩により、これらUAVの使用することが出来る領域が著しく増加しました。一方で軍用UAVは、ミリタリーエリアへ行くのに民間エリアを横切っていくようになりました。通常の航空機とUAVがニアミスを起こした報告もありました。

UAVは将来的に警察（捜索、交通処理）、農業（農薬散布、収穫）、自然保護（水位監視、森林関連災害モニター）といった多くの分野での使用が予想されます。また、民間UAVは通常の航空機と混在して使用されます。

技術の進歩は予想より早く、UAVのサイズは模型飛行機クラスからB717クラスまで多岐に渡っています。適切な運用規則無しで、これらの機材を通常航空機と同じ空域で共存させるのは、航空安全上大きな脅威となります。また、近い将来には貨物機、最終的には旅客機にも技術の転用は可能です。

このようなUAV技術が、複合的、安全上重大な状況下における、人間の能力に置き換えることができないことを確認し、『IFALPAはいかなる航空運送においても、UAV技術をパイロットに置き換えることに反対します』。

UAVに関するIFALPAの方針案は、世界中の全ての民間航空のために、統一された最高レベルの安全基準を押し進めることを目的としています。

Draft IFALPA Policy Unmanned Aerial Vehicles (UAV) in civilian airspace

Member Associations shall make any effort to ensure that UAV technology and UAV are not used to supplant the role of pilots any type of air transport operations.

日乗連では、引き続き世界の動向を注視し、最新の情報をお伝えします。

